

# 幸常関 議会報告

第25号  
2012.1

発行責任者  
南魚沼市議会議員 幸常関  
南魚沼市浦佐2015番地  
TEL 025-777-2245



## 寒中お見舞い申し上げます

昔、浦佐の街は再三大火に遭い、その火勢は毘沙門堂に迫るが、山門の「龍」が水を吐き出し、毘沙門様を大火から守った……。今年は「龍」年です。「龍」は天と地の守り神であり、農業に恵みの雨をもたらす。そして、強きをくじき・弱きを助ける。昔から毘沙門堂山門を通るだけで、身体健全・身体頑強になるといわれている。

龍年は龍のイメージから波乱の年を思わせるが、同じ壬（みずのえ）龍の1952年、60年前サンフランシスコ平和条約が結ばれ、日本は主権を回復した。その12年後1964年は東京オリンピック、日本が昇り竜のごとく勢いを得る年となった。昨年はおとなしくやさしい印象のウサギ年だったが、未曾有の災害年になった。龍にあやかるとしたら、困難を克服する力強さと天と地を守るやさしさであろう。

新しい年を迎い、「一年の計は元旦に」あります。皆さんそれぞれ一年の目標を立て、神様をお願いしたいと思います。私の目標（お願い）は……。

- ①大震災(東日本・7月豪雨)の復興と一日でも早い福島原発の終息。
- ②TPPでなく、相手国の事情を理解したFTA(自由貿易)の推進。
- ③地域医療を担う「新やまと病院」と「新六日町病院」のあるべき姿の構築。
- ④地域に活力を興す「大原運動公園」「図書館建設」「今泉・観光交流拠点」の推進。
- ⑤毘沙門通りの活性化と賑わいを、3月3日大祭の無事故を。
- ⑥自給畑主任、孫の子守手伝い、マラソン大会参加……。

そして今年、10月に県知事選挙、11月に市長選挙、早い時期に衆議院が解散し選挙になるでしょう。大変な時期です。誰が本当に私たちの生活の事を考え、そして相談に乗り・実行してくれる政治家なのかしっかりと見きわめてください。

※ TPP(環太平洋経済連携協定)は、原則全ての産品で関税をすべて撤廃し、徹底した自由貿易を行う協定で、米国など9カ国が参加予定。



山門を通ったら上を見る！  
谷文晁が描いた「龍」が2体。

## 12月定例議会 ～ 2.8億円の補正で、一般会計総額は385.6億円に！

十二月六日から十六日までの十一日間定例議会が開催される。阿部議長就任後初の定例議会であり、緊張する場面もあったが無難に終わる。

議会初日終了後「議会全員協議会」が執行部の要請で開かれ、大原運動公園と7月豪雨災害復旧について説明を受ける。

●大原運動公園整備(一期計画)計画が示される。スキー観光が右肩下がりの中、塩沢地区が夏の誘客拠点施設としての利用に期待する。

●道路河川78カ所、農地農用地施設550カ所、農地小規模485カ所、林道44カ所の査定額や復旧状況を。市内の建設業界は24年の作付に間に合うように、最優先で復旧事業に当たっていることに感謝する。

●十九人が登壇し市長に一般質問を行う。主な内容は、特別支援学校3人、大原運動公園3人、病院3人、災害・震災3人、TPP2人……。今日的な問題を取り上げ、市民目線で市長に迫る！

## 一般質問(12月14日)

### ●放射能防災対策について

東日本大震災から12月11日で9か月が経った。福島県などから県内に避難している人は12月2日現在で7,089人で12週連続で増加している。その増加は福島第一原発から50キロ圏の福島市や郡山市からで、放射性物質への不安が広がっているからだ。

夫は地元に戻り、妻と子供は新潟にと二重の生活は、精神的・金銭的の面で時間とともにきびしくなる。地元に戻ったとしても放射能が心配で、子どものことを考えると、この先どうしていいかわからないと言う声が多い。そして、若い家族ほど子供のために家に戻ることを断念する現状だ。

生まれ育った我が家を、故郷を捨てなければならぬ。一緒に仕事をし、一緒にお茶を飲んだ隣近所の皆さんと別れ離れになる。

今、自衛隊が出動して、放射能の除去が始まったが、本当に昔のように住めるのだろうか、「もう一生帰れない！国と東電はどう償うんだ」と怒りと無念さの姿がテレビで報道されるたびに目頭が熱くなる。

日本は17か所で54基の原発を有し、世界で3番目に多く設置している。そして、7基の原発がある世界一の柏崎刈羽原子力発電所は、南魚沼市から50キロ圏内だ。

原子力発電所の安全神話が崩壊した今、早急に放射能避難対策が示されなければ市民は不安だ。

#### <市長>

新潟県は、12月2日に原子力防災対策見直し素案を発表したので、出来るだけ早く、南魚沼市の対応策を示したい。

### ●TPP交渉参加表明について

このTPP参加問題は、日本の枠組みをも変えるおおきな問題でありTPP参加は、国益にならないから、国会議員衆参合わせて722名の国会議員の半数以上が反対している。

TPPへの参加によって農業問題は、市長も理解しているので割愛するが、経済・貿易ではどうか。TPPに参加すると、内閣府の試算によれば、10年間で2.7兆円。1年に換算すると2700億円の波及効果が見込まれる。

ちなみに2010年度の日本の実質GDP国内総生産は、539兆円なので、TPP参加で日本のGDPは年あたり0.05%しかメリットがない。

医療分野はどうか、現在アメリカとTPPとFTAを結んでいるニュージーランドと韓国の実態を見れば一目瞭然だ。

営利病院・保険外診療が拡大し、国民皆保険が崩壊することは明白だ。そして、韓国では若者の働く場が失われ、若者によるデモ騒ぎが起きている現状だ。

本当にアメリカやオーストラリア等の国と、文化・歴史、生活・慣習の違う国と、すべて自由にしているのか……。

確かに日本は戦後、自由貿易のおかげで世界に確たる、今日の平和と経済の繁栄を築いてきた。自由貿易を否定するのでなく、相手国の事情を認める、二国間でのFTAで十分だ。例外の品目を認めないTPPへの参加は慎重であるべきだし、参加は見合わせるべきだ。

#### <市長>

国会で議論をし、国民の理解を得てから参加を判断すべきだ。

トピックス

10/14 中越地区市議会研修会



10/20 八海山火渡り大祭



10/15 国際情報高校創立20年



11/1~2 苦前町行政視察

## 12月議会概要(6日~22日)

### ★ 市長所信表明



- ・魚沼基幹病院を運営する財団に、南魚沼市より300万円出損(総額5千万)
- ・11月18日に新潟県は魚沼基幹病院、建設工事、電気設備工事、空気調和設備工事、衛星設備工事の入札公告がされた。
- ・高齢者福祉計画、介護保険事業計画、障がい者計画・福祉計画策定中
- ・六日町認定こども園入札。平成25年4月開園めざす。
- ・特別支援学校開設に向け、現施設の改修等のため24名による検討委員会設置。
- ・原発事故による放射線の測定値は問題はないが、調査については引きつづき実施。
- ・大原運動公園は現地測量がおわる。図書館整備事業は順調に設計を進めている。
- ・上町エコ住宅は、10月に新たなモニター家族が入居し実証実験を続ける。
- 災害復旧
  - ・道路、河川~78箇所・117千万円、2か所の橋りょうは12月査定。
  - ・農地、農業用施設~550か所・254千万円、約50%発注。
  - ・農地等の小規模(40万円以下)~市単独で485か所・17千万円、100%発注。
  - ・林道~44か所・26千万円、6件発注。
  - ・東日本大震災により、当市は東方向へ64~72cm、南方向へ7~9cmの移動。
  - ・JAに集荷されたコシヒカリの1等米比率は92.6%と平年並み。
  - ・倒産した「ミナミスキー場」は、(株)スマイルスキーリゾートが引き受ける。
  - ・道の駅は「雪あかり」、直売所は「四季味わい館」と命名される。
  - ・都市計画税は24年度から税率を2分の1(現行0.2%を0.1%)に減じる。

### < 12月16日議会最終日のできごと……! >

- 議会開会冒頭に、12日の一般質問でN議員と市長の論戦の中で、市長の発言でN議員に対しふさわしくない発言があったとして、市長が発言を取り消す。確かに議会運営委員会で問題になったが、内容からして市長が取り消さなくてもいいのだからと思った。
- もう一件報告があった。12月30日号の週刊誌フライデーに、「雪国まいたけ」が自社のもやしを大量投棄している旨の記事が掲載された……。その場所は循環型農業を開始した場所だ。市としても5回現地調査している等々の報告がある。市として、フライデーに記載されている内容に対しての事実調査が必要だ。
- 共産党が紹介議員になっている請願3件(①社会保障税一体改革に反対し…。②0.4%の年金引き下げをもとに戻す…。③年金受給資格期間の10年…)は、委員長の委員会審査報告は不採択であり、本会議でも賛成少数で否決される。
- 補正予算5件、人事案件3件、他の議案4件は原案通り可決される。
- 「働く婦人の家」の灯油漏れについても担当課より経過の報告がある。県の分析センターから掘削や水質検査、井戸水等の検査をしても異常ないという。本当に不思議だ。7~9カ月の3か月半で1200リットル消費したとは考えにくいだが、経過観察することで了承する。

11/3 多聞青年団「ねこ」かき



11/24 健康サミット会議

11/27,12/4 長島代議士  
国政報告会



1/15 賽の神まつり

## かわら版(ミニ情報)

### ★新春賀詞交換会(1月13日)

大和商工会主催の恒例の賀詞交換会が、ホテルオカベで盛会に開催される。

一部の山田さなえ・ふるさとライブには感動する。さなえさんは、当市穴地新田出身で中学、高校と陸上部で活躍し、体育大学に進学するが、歌が好きで、あるオーディションに合格する。



山田さなえふるさとライブ



熱唱する山田さなえ!

そして、音楽の道に進む。大学の傍ら専門学校に通い音楽作りの基礎を学び、独学でピアノを始める。2008年に初ライブ。2010年に都内ライブハウスにて、ピアノ弾き語りアーティストとして始動。現在シンガーソングライターとして東京都内でライブ活動しながらCD制作にも力を入れている。新潟は初めてのライブで、両親の前でのお披露目となる。

### ★寺尾七尊観世音裸押し(1月15日)



午後7時半観音堂につくと押し合いは始まっていた。県内には多くの裸押し合いがあったが、いまでは5、6か所を数えるだけになった。ここ寺尾も昔は毎年行われていたが途絶え、平成4年に復活しそれもオリンピックの年に開催するということにした。今年は4年ぶりの押し合いだ。歌や踊りも浦佐に似ている箇所が随所に見られる。

私は初めての見学であったが、浦佐の多聞青年団は毎回参加しており、今日も4名ほど参加していた。熱気あふれるエネルギッシュな押し合いだ。子供が参加しているのは、



いいと思った。中央で年男が歌を謳いながら田打ち踊りを、裸衆は手をつなぎその周りを回る様は、田んぼを表しているのか!

### ★祝 海外研修会「やまと」創立 30周年(12月18日)

30周年海外研修会



小澤実行委員長

今年度第15回の研修団を送り、今までに156名の方が参加した。30年前私たち17名は、初めて米国本土を訪れ、毎日が頭をハンマーでガツンとはたかれたようなショックの連続であった。

今思うと、30年も続いたのは、補助金を一切いただかなかつたから。アメリカ農業の大きさや広さに驚くのではなく、経営者の生き

様や人生哲学、農業哲学を学ぶ。そして、赤坂さんとの出会いが無ければ「海外研修会やまと」は、今日まで続かなかつた。本当にありがとうございました。



「米国農業」を語る、キャピトル航空「赤坂社長」

**編集後記**

◇家のじいちゃん 87歳、本当に元気だ。冬は家の周りと駐車場の雪片づけ。その秘訣は晩酌。(一升瓶が3〜4日で空に)

◇浦佐スキー場の営業休止で、浦佐の街にポカンと空間が出来、改めてスキー場の存在感を知る。何とか出来なかったのかと悔やまれる。

◇一月に入ると浦佐の男衆は、まつりモードに入る。そして、街を歩く法被姿の多聞青年団に元気をもらう。

●開常幸ホームページも見てください。ヤフー開常幸で検索。寒暖の差が激しいです。健康にご留意ください。